

2021年上半期分 羽田空港貨物取扱量

1. 概要

2021年上半期の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

積込量	112,571トン	(前年同期比	53.2%増)
取卸量	98,879トン	(同	4.6%増)
総取扱量	211,450トン	(同	25.9%増)

となり、前年同期比で積込量、取卸量、総取扱量全てにおいて増加となった。

2. 通関官署別動向について

(1) 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関官署別にみると、

羽田地域通関	5,938トン	(前年同期比	40.7%増、シェア 10.1%)
その他地域通関	53,143トン	(同	59.5%増、同 89.9%)

となっており、前年同期比で羽田地域通関分、その他地域通関分ともに増加となった。

(2) 輸入量

羽田空港において輸入された貨物量を輸入通関官署別に見ると、

羽田地域通関	27,702トン	(前年同期比	5.9%減、シェア 46.7%)
その他地域通関	31,612トン	(同	6.5%増、同 53.3%)

となっており、前年同期比で羽田地域通関分は減少、その他地域通関分は増加となった。

3. 仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量	53,490トン	(前年同期比	48.9%増)
取卸量	39,565トン	(同	11.9%増)

となっており、前年同期比で積込量、取卸量ともに増加となった。

4. 生鮮・ドライ取卸貨物動向 (その他地域通関分を除く)

2021年上半期の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別でみると、

生鮮貨物 5,618トン(前年同期比 15.7%増、シェア20.3%)
 ドライ貨物 22,084トン(同 10.2%減、同 79.7%)
 となっている。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

(単位：トン)

		2021年上半期		2020年上半期	
羽田空港輸入貨物量		27,702	(94.1%)	29,452	(63.6%)
内 訳	生鮮貨物量	5,618	(115.7%) [20.3%]	4,856	(55.8%) [16.5%]
	ドライ貨物量	22,084	(89.8%) [79.7%]	24,596	(65.4%) [83.5%]

注 ()内は前年同期比、[]内は構成比である。

※この資料は再国際化以降についてコメントしています。

1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。